

論 文

ベット・マットレス殺菌装置の 細菌学的効果及び効率的な条件

萬徳 鈴美・山崎委都子・吉田 秀一

(石川県立中央病院)

Effective Disinfection of Bed and Mattress with Dryer

Suzumi Mantoku, Ituko Yamazaki and Siyuuiti Yosida
Isikawa Prefectural Central Hospital

要 旨

当院では院内感染防止対策の一環としてベット・マットレス等の細菌学的清潔を目的に真空パルス式殺菌装置において処理している。当初、ベットに破損が生じ、殺菌効果も明確に示されたものがなく、今回、MRSAの殺菌試験とベットの破損の有無を調べて細菌学的効果と殺菌処理の効率的な条件を求めた。

方法、ホルムアルデヒドの条件は変えず、時間と温度を組み合わせた22グループに3個のMRSA自家製塗布血液寒天培地をベット・マットレスの間で殺菌した後、48時間培養し、コロニーの有無で効果を判定した。

結果、殺菌効果の至適条件は温度47℃～50℃、時間60分以上であること。ベットの破損は53℃以上で生じていた。

結論、至適条件を満たすグループを比較検討した結果、殺菌効果があり、ベットの破損がなく、殺菌時間が短い、効率的な条件は全行程時間60分、庫内温度50℃であった。